

CAMPUS 八戸学院

vol.42

特集 座談会企画 第1弾

部活動の現状とその指導

+αができる看護師を目指して

学びの時間

がんばるクラブ活動

国際交流特別授業

砂浜彫刻



+αができる看護師を目指して

八戸学院大学健康医療学部看護学科開設記念式典[6/11]



大学会館(5号館)において健康医療学部看護学科開設記念式典が、小林眞市長はじめ多くの来賓と本学の教職員および看護学科Ⅰ期生となる学生ら170人が出席し開催された。

式典では新入生を代表して看護学科1年の白山佳枝さんが「4年制となった看護学科Ⅰ期生として喜びとともに身が引き締まる思い。看護学科開設にご尽力いただいた多くの方々に感謝して、4年間でたくさんのことにチャレンジし、看護+アルファができる人を目指していきたい。その一つとして国際的な視野を身に着けるために英語のスキルを向上させ様々な患者との信頼関係を築きながら、自ら考え行動できる看護師になりたい。」と挨拶し、新生看護学

科のスタートにふさわしい「前進への意欲」を心に強く感じる式典となった。

式典後の記念講演の中で佐藤敬弘前大学長は、白山さんの挨拶を「開設記念にふさわしい挨拶だった。将来の看護師を目指した姿勢が素晴らしい。」と述べ、蛭田看護学科長は祝賀会において「白山さんのような学生がいる本学科の将来が楽しみである。」と挨拶するなど、式典に出席した来賓の方々および教職員・スタッフらの心に印象深く刻み込まれ、今後、より充実した教育・サービスを提供していく源となったのではないだろうか。

看護学科は、今年4月に短大から大学へ4大化されたことで、より幅広い分野の研究・指導・実践ができるようになり、今後、地域住民の健康増進と地域医療の向上に貢献できる人材を育成することになる。



平成28年度看護学科宣誓式[5/14]



看護学科の第7回宣誓式が行われました。式典には先輩・後輩・保護者・来賓の方々の参列のもと、一年間の基礎教育を終えた2年生81名が看護師になる新たな決意をしました。会場が消灯され厳粛なキャンドルサービスは81本の灯を一つにし、ナイチンゲールの看護の心を受け継ぎました。建学の精神「神を敬し人を愛する」を基に学び続け、「人々の幸せのため貢献できる看護師になる」と力強く宣誓しました。

外崎充子学長から「誰かの支えになれる看護師に」との式辞に続き、宣誓者を代表して長根芽吹さんが「八戸学院短期大学の最後の学年としての自覚と感謝を忘れず地域貢献できる看護師になれるよう努力する」と誓いを述べました。

他の学生からも「これから始まる様々な実習に精一杯がんばる」「気が引き締まる思い」などの感想があり、式典を通して仲間としての一体感がさらに強く輝いてみえました。

式典終了後、「地域に貢献する看護職の魅力」と題して千葉大学大学院看護学研究科教授の酒井郁子先生の記念講演が行われ「看護には無限の可能性があり、自分たちで看護の仕事を創っていくことが重要である」ことや、「患者さんの笑顔を引き出すのが看護職の役割」などの講演に、学生一人ひとりが、10年後・20年後の自分の姿を思い描き、意欲と希望につながる貴重な時間になりました。

CONTENTS

- 2 読書のススメ
- 3 +αができる看護師を目指して
- 4 特集
CAMPUS 八戸学院 座談会企画 第1弾
「部活動の現状とその指導」～個々の能力を伸ばして～
- 8 学びの時間
がんばる部活動
- 10 八戸学院 NEWS / イベント情報
- 14 光星高校 国際交流特別授業
- 15 職員ファイル
- 16 八戸学院 NEWS / イベント情報
- 18 幼稚園運動会
- 20 平成28年度八戸学院関東の集い開催
- 21 同窓生の広場
- 22 理事長散策
- 24 砂浜彫刻『わ』の世界



禅 シンプル生活のすすめ (三笠書房)

著者：栢野 俊明

禅僧にして、大学教授、
庭園デザイナーとしても活躍



余計な悩みを抱えないように、
他人の価値観に振り回されないように、
無駄なものをそぎ落として、
限りなくシンプルに生きる。
心配事の先取りをせず、「いま」「ここ」だけに集中する。
悩むより動く---そのほうが物事は絶対うまくいく。

と著者は語っている。人は日々の生活の中で大なり小なりストレスを感じたり悩みを抱えている。「病は気から」で気の持ち様で軽くなれたり、他人に話すことで解消できることもある。

今、自分にのしかかる一番の問題を、重い心を、軽くしてくれるそんなおススメの1冊です。



法官 廣子
学校法人光星学院
総務部参事

CAMPUS 八戸学院

vol.42



表紙

今年で10回目となる砂浜彫刻では投票により順位が決定します。今年は、表紙の差波ゼミ「和金」が第一位「金砂賞」を受賞しました。

建学の精神

「神を敬し、人を愛する」

カトリックの精神に則る道德教育を施し、高尚な人格の完成を期し、現代社会が要請する有為の人材を育成することをもって目的とする。(寄付行為 第3条)



八戸学院大学・八戸学院短期大学図書館は「地域に開かれた大学図書館」として、地域住民の方も無料でご利用いただけます。

- 八戸学院大学 TEL 0178-25-2711
- 八戸学院短期大学 TEL 0178-25-4411
- 八戸学院大学・八戸学院短期大学
地域連携研究センター TEL 0178-25-2789
- 八戸学院大学・八戸学院短期大学
図書館 TEL 0178-30-1695
- 八戸学院光星高等学校 TEL 0178-33-4151
- 八戸学院光星高等学校専攻科 TEL 0178-25-6322
- 八戸学院野辺地西高等学校 TEL 0175-64-4166
- 八戸学院短期大学附属幼稚園 TEL 0178-34-5765
- 八戸学院短期大学附属幼稚園
聖アンナ TEL 0178-45-3670
- 八戸学院短期大学附属幼稚園
第二しのめ TEL 0178-25-2488

<http://kosei.hachinohe-u.ac.jp/>

CAMPUS八戸学院「座談会企画」第1弾



赤間 俊勝 監督

対談メンバー(右より)
赤間 俊勝 〔光星高校陸上部監督〕
三上 晃 〔野辺地西高校サッカー部監督〕
綿谷 貴志 〔八戸学院大学陸上部監督〕
工藤 祐太郎 〔八戸学院大学ラグビー部監督〕
 聞き手 金 入 教 人 〔編集委員〕
 撮影 織 戸 浩 〔編集委員〕

「部活動の現状とその指導」 ～個々の能力を伸ばして～

大学、高校で運動部の監督をされている4人の先生に部活動の現状、指導方法、今後の目標についてお伺いしました。
 ※自己紹介は割愛させていただきます。

監督に就任して

司会 指導されている部活動の状況についてお伺いします

三上 着任の年から監督に就任し、県内市町村出身部員25名でスタートしました。3年間、ホームルームと部活動の両面と同時に進路指導まで、他の先生方の協力も得ながら、個々の能力を引き出し伸ばせるよう最大限関わっています。

赤間 着任時、私が専門とする駅伝や長距離がなく、近隣に駅伝チームがある学校が多かったので選手獲得は大変でしたが年数を経て育成し現在に至っているところです。

綿谷 着任時、陸上部は勿論ありましたが、組織づくり、運営の面から着手し、まずは陸上部らしくする所から始めたというのが実状です。部員30名程で女子選手が半分、7割が実家から通っています。今後は魅力

ある部にして津軽地方からも集めたいと思います。

工藤 大学ラグビー部は創部5年、現在部員はわずか36名でほとんどが県内出身です。全国を目指す大学が地元にある、となるよう取り組み活動しています。おかげさまで去年、全国大会に出場できましたが、163対0という大差に全国のレベルの高さを痛感しました。



工藤 祐太郎 監督

練習組み立てのポイント

司会 練習を組み立てる上で、重要視しているポイントは？

綿谷 トレーニングに関しては長距離と短距離に分けて、長距離ブロックは女子の強化をしつつ、リクルートにも力を入れてますが、女子で大学まで続けたい人はなかなかおらず、今非常に苦勞している状況です。短



赤間 俊勝 監督

距離ブロックはリレーを中心に強化し、スピード練習を主として質の高い練習をとっているコンセプトで今トレーニングを行っています。

赤間 男女で50人程のチームで、完全に二期にわけており、男子の駅伝チームは前期がインターハイ路線、トラック中心にスピードを磨く期間で、それを基に後期に夏合宿を経て駅伝ヘシフトする選手、秋のトラックシーズンに向けての短距離練習という形で分かれていきます。

女子の駅伝はトラックからの延長上で、手法を変えないでそのままロードにもつていきます。短距離選手は完全に前期と後期のトラックシーズンに向けて、夏と冬の合宿で強化していきます。夏と冬の強化を挟んで各々大会がありますし、個人競技と団体競技のプログラムを組む

のが大変です。

三上 いま3チーム構成で選手の質も課題も違うので、その週の中で次の対戦相手に向けて対策と課題を回していきます。私と川村コーチはお互いビデオ撮影し、情報を共有しながら、全選手の試合に必ず目を通し課題を抽出してメニューを組みます。各選手がその試合の中でどのくらいトレーニングの結果を出せたか、実戦経験を積むことができます。

工藤 朝練にウエイトトレーニングを持ってきて、午後は全員でグラウンドに出て練習しています。ラグビーは秋のシーズンのみの一発勝負なので、学生のモチベーションを保つのは難しいところでもあります。

「動作分析」から課題に 応じたトレーニングを設定

綿谷 私の専門分野は「動作分析」で、選手の長所や弱点を見つける分野ですが、新しいトレーニングの場合に必ずその効果をデータとして見せ、定期的に動作分析しながら、課題に応じたトレーニングを設定するようにしています。年に2、3回は



綿谷 貴志 監督

体力テストと動作チェック、スキルチェックをして指導に活かせるようにしています。課題と感じる所をデータにして提供してあげることは、有効な手法だと思います。選手も私自身も納得できるトレーニングを組むよう心がけています。

赤間 効果効率のいい走りをさせたので、「動作分析」までいかないが、効果のある練習として年間計画を重視します。目標と年間計画、過程にどういうメニューを入れていくか、どのように調子よい状態に持っていくか、そしてどういう作戦を立案するかというのを年間スケジュールで考えていきます。

綿谷 やはり自分を客観的な目で見るということは選手にとって大事なことだと思います。「効率」のことが出ましたが、フォームの矯正、練

習の効率化は、非常に重要な要素です。また、今年からは明確に1年を鍛練期、準備期、試合期、回復期の4つに分けることを始めてみました。そうすることによって選手は、計画的にトレーニングを行えるようになり、コンディション管理に役立つのではと思います。

司会 ビデオ導入の効果は？

綿谷 その日の練習の動きと調子の良い時の動きを見比べることによって、今のコンディションのチェックに使えると思います。

赤間 試合のビデオを撮り、皆で自分の走りを見ています。自らYouTubeとかでインターハイの動画を何回も観て、イメージトレーニングを進んでやっています。

工藤 ターゲットを絞って、その日に全体ミーティングで伝えたり、クラウド上にアップして全体に見れるようにしたり、見せたい動画だけ切り取ってアップするとか、余計な情報を与えずに見せるということがありますね。

綿谷 以前から実施されていた光星陸上部の貧血検査を今年も1回やり

けています。

人間力がないと 試合に勝てない

ました。ヘモグロビンの数値データ
を取るんですが、定期的にやっ
ていこうと思います。自分の状態を数値
で示す貧血検査を実際に見て、
赤間先生が感じた印象とか生徒から
の回答があったらぜひ聞きたいです
ね。データを自分で見たときに、ど
ういった影響があるのか、指導者が
知り得た情報をいかに活かすことが
できるか。現場の指導者でできない
部分をフォローできればと思っています。
ます。

赤間 前監督の三本木先生の時から
やって頂いてまして、検査で予め貧
血だと分かると改善への余地があり
ますし、それ自体が予防でもありま
す。貧血検査を動機付けとして病院
にいくなど、その状況を見て選手の
体調管理面でのアドバイスを役立た
せて頂いているので、ぜひ継続して
やっていきたいと思っています。

三上 サッカー競技としてはグルー
プの映像分析と次に個々、戦術の確
認をします。また食事と栄養学、休
息に関してなど外部講師の指導には、
生徒の目の輝きも違います。定期的
にセミナーや外部コーチの指導も受

たい選手がいれば、どうぞと誘って
くださるなど、ちょっと楽させて頂
いております。（笑）

赤間 私どもの陸上部から八学大陸
上部に入部している生徒が5人ぐら
いますので、キャプテンもうちの
卒業生だし、そういう面では綿谷先
生のアプローチだけじゃなくて、私
から「最近の調子は？」と声をかけ
たり、アドバイスなどで交流を持っ
ています。

三上 本校も例えば、選手権の決勝
で青森山田高との試合前とかですと、
大学の岩本監督にちよつと力を貸し
てほしいとお願いして練習試合の相
手をして頂いたりとか。八学大は県
のトップですので、そういう部分で
は、いつも胸を貸して頂いて、毎年
練習試合は定期的にやらせていた
でいます。

工藤 練習の面では一緒にやれる部
分は一緒にやって、怪我させないよ
うにやるようにしています。特に女子
選手が光星高校にいますし、その生
徒たちとも一緒にできる練習はし
ています。

司会 それぞれで連携をとられなが



三上 晃 監督

ています。むしろサッカーの方が少
ないと思います。取り組む姿勢です
とか、サッカーの方を細かく言うよ
りは、サッカーするための24時間
どうオーガナイズするかという部分
を生徒達にはよく話しています。
やっぱり人間力がなければ、どうし
ても最後で行き詰ってしまい、試合
にも勝てません。また社会に出て
も通用する人間力をつけることに力
を入れています。

生徒にその本質の部分を感じさせ
てやりたいということを指導で重要
視しています。

司会 普段の生活習慣が及ぼす競技
への影響についてはいかがですか？

綿谷 表れづらい競技とダイレクト
に表れる競技とあって、私生活を管
理できない、セルフコントロールで
きない人は、集団スポーツとか個人

数名出ており、さらに人間力を上げ
れば競技力アップも期待できると
考えておりますので選手のサポー
トをしっかりしていきたいです。

また研究者として、スポーツ科学
と指導の現場の融合は究極のテー
マですので、こういうものが現場に
ダイレクトに活かせるか、引き続き研
究していきたいと思っています。

工藤 大学選手権では東北・北海道
代表が九州代表と対戦しますが、こ
れまで東北・北海道代表は全国大会
で勝ったことがあります。目標は、
まずそこを覆したい。去年やっとス
タートラインに立てましたので、あ
の悔しさを指導者と学生が如何に共
有できるかが鍵だと思います。その
ためには、学生とコミュニケーション
を取りながら学生が主体的に取り
組む体制を整えていきたいと考えて
います。

赤間 目標はもちろん、去年初めて
全国高校駅伝に出場したので連続で
出ること、女子の駅伝チームを少し
強化し男女一緒に全国出たいとい
うのが目標なんです。次は全国だと
か全国入賞だとか、インターハイに

競技でも同じで、試合からのスケ
ジュールを逆算できない人が多く、
コンディションを合わせられずミス
したりします。特に集団スポーツに
あると思うんですけど、ボール持っ
てる人だけのスポーツじゃないんで、
視野を広くもつとか、瞬時に戦術を
理解するとか、かなり直結するん
じゃないかと思っています。

三上 普段からの我慢強さ、辛抱強
さなど、目に見えない部分ではあり
ますが、その習慣が戦う前からの準
備につながり戦いに入っていけると
いうことを話しています。

高大連携の可能性

司会 高大連携の取り組みについて、
貧血検査ということができましたが、
他に連携をしていることはあります
か？

赤間 例えば公共のグラウンドをど
ちらかが押さえた時には、声かけて
一緒に使いましよう。

綿谷 うちは、長距離が少ないので
すが、短距離ブロックに関しては光
星高校と一緒に練習したりしていま
す。また、光星高校の合宿に参加し

行くぞというよりも、今いる生徒を
じっくり育てることに目を向けるこ
とも面白いかなと思っています。

三上 具体的にはやっぱり県で優勝
したいと思っています。全国トップレ
ベルの青森山田高校を倒せれば全国
でも勝てるだろうという部分と、う
ちが光星高校がなんとかそこで歴史を
変えたいなという思いがあります。
あとは皆さんと同じで人間性をどれ
だけ高めてやるか、人生高めてや
れるかという部分は変わらずやって
いきたいと思っています。

司会 皆さん、今日はお忙しいとこ
ろありがとうございました。今後の
ご活躍をご期待申し上げます。





光星高校
卓球部[男子・女子]

話し合いから生まれるもの

基礎練習後の練習メニューは、ペアになる生徒同士で話し合い練習メニューや目標を決めています。苦手な部分の練習に時間を割くペアもいれば、試合を想定した練習を行うペアなど様々です。話し合いによる練習はスキルアップ以外にもチーム内のコミュニケーションにも繋がり、チームとしてまとまりが生まれました。男子は、9月に行われる新人戦団体優勝、女子は4強と言われる強豪校に勝つことを目標に練習にも力が入ります。



野辺地西高校
バドミントン部[男子・女子]

さらなる高みを目指して

創部35年の歴史を誇り、東北大会への出場経験もあります。現在部員は、男子が10人、女子が6人。毎日の練習は、4kmのランニングから始まり、フットワークやシャトル拾いなど基礎練習に時間をかけます。毎日のランニングや基礎練習の繰り返しこそが自信の裏づけとなり、試合中のネガティブな感情をポジティブに変える秘訣でもあります。現在、目標の県団体ベス8に手が届きそうな位置にいます。夏休みには合宿も計画されており、目標達成に向けてさらなる高みを目指します。



学ぶの時間 がんばるクラブ活動

クラブ活動は、仲間との出会いや新たな自分を発見できる貴重な場所でもあります。目標に向かって練習に取り組む、クラブ活動を紹介します。



光星高校
バスケットボール部[男子]



悲願の全国大会出場を！

全国大会出場を目標に、チームでは試合後に悔いが残らないよう常に全力プレイを心がけています。また、控えとなった部員もそれぞれの役割を担い、全国という目標に向かいチーム一丸となって取り組んでいます。過去3回全国大会出場のチャンスがありましたが、いずれも2位に甘んじ悔しい思いをしてきました。次のウインターカップ青森県予選が3年生にとって全国大会出場の最後のチャンスになります。悲願の全国大会出場に向け3年生の挑戦が始まります。



光星高校
バスケットボール部[女子]

選手が考え行動するチーム作りを

部員全員が部活動ノートを持ち、その日あった試合や練習の振り返りをするなど自主性を促しています。練習もキャプテン中心で選手が考え行動しています。試合においてもコートにいる5人で考え行動するチーム作りを目指しています。新チームになり、チームの特性を活かした新たなプレイスタイルにも手ごたえを感じており、9月の新人戦ではライバル校を撃破し、東北・全国大会を目指します。



イベント情報

平成28年8月～11月

八戸学院大学・八戸学院短期大学

▼オープンキャンパス

9/24(土)10:00～13:00

入試対策講座、体験授業、クラブ・サークル紹介など

問い合わせ

八戸学院大学・八戸学院短期大学

キャリア支援課 TEL.0178-30-1700

八戸学院大学

▼秋桜祭 10/29(土)・30(日)

問い合わせ

八戸学院大学

キャリア支援課 TEL.0178-30-1700

八戸学院短期大学

▼光華祭 10/29(土)・30(日)

問い合わせ

八戸学院短期大学

キャリア支援課 TEL.0178-30-1700

平成29年度入学願書受付情報

八戸学院大学

◆ビジネス学科／人間健康学科

▼AO入試A① 8/1(月)～8/31(水)

▼AO入試A② 8/1(月)～9/14(水)

▼AO入試A③ 9/15(木)～11/2(水)

▼AO入試A④ 9/15(月)～11/16(水)

▼推薦Ⅰ期・専門課程

11/1(火)～11/7(月)

▼推薦Ⅱ期 11/18(金)～12/5(月)

◆看護学科

▼推薦入試(指定校推薦)

11/1(火)～11/7(月)

▼推薦入試(公募推薦)

11/18(金)～12/5(月)

八戸学院短期大学

◆幼児保育学科

▼推薦入試 11/1(火)～11/7(月)

▼専門課程、社会人

11/18(金)～12/5(月)

◆ライフデザイン学科

▼AO入試A 8/1(月)～9/14(水)

▼AO入試B 9/15(木)～11/2(水)

▼推薦Ⅰ期 11/1(火)～11/7(月)

▼推薦Ⅱ期、社会人

11/18(金)～12/5(月)

図書館

本の貸出サービス「Deli Book(デリブック)」開始

大学図書館デリバリーサービス(高校教員向け貸出配達サービス)



八戸学院大学・八戸学院短期大学図書館では、系列の光星高校および野辺地西高校の教職員向けに図書の貸出配達サービス【Deli Book(デリブック)】を開始した。

本を借りたいが、授業の準備や部活動顧問など多忙であるため、大学図書館を利用することができない系列高校の先生に向けて、専門書や小説などの図書を貸し出し配達するサービスである。

図書(資料)を借りる際はメールで申請することになる。借りたい本(資料)を見つけるには、大学図書館のHPにアクセスし、OPAC(※)を利用して検索し、表示される【登録番号・書名】を図書館のアドレスへ送信する。貸出

は図書5冊、DVDは3本で期間は2週間となっている。申請された図書等は、専用の特製バッグに入れて貸し出され、返却は各高校の事務室に専用の「返却BOX」が設置されており後日、図書館の担当者が回収するシステムだ。初回利用時に「利用者登録」を行うが、その際に作成される利用者カードは図書館オリジナルのデザイン4種類から選べるサービスもある。

図書館では、高大連携の足掛かりとして、教員向けやこれから教職を目指す学生のニーズにあった図書を所蔵していくなど、今後の更なる発展を目指し、他の施設や高校生らへの拡大を視野に入れて展開していくことを検討している。

(※)OPAC(オパック)とはOnline Public Access Catalogの略語で、オンラインの蔵書目録のこと



短大

第16回家族ふれあいウォークラリー大会に参加[6/12]



「第16回家族ふれあいウォークラリー大会」(主催ーよこまちストア・八戸市レクリエーション協会、協賛ー大塚製薬株式会社)が開催され、ライフデザイン学科の学生がスタッフとして参加しました。

梅雨時でしたが当日は快晴、450人の市民の参加とスタッフ150人が集まり大盛況のイベントとなりました。参加チームごとに八戸市中心街とその近辺にあるチェック

ポイントを回り、ゲームなどを通してポイントを獲得していきます。レクリエーション事業を通して地域の魅力を再発見し、参加者間での交流が促進されます。会場では「あそびの日」ブースを設け、ディスクゴルフ等のレクリエーションを楽しみました。

ライフデザイン学科ではレクリエーション・インストラクターの資格を取得できます。実習経験として今回の大会準備やウォークラリーのチェックポイントでの業務を手伝い、イベントを通してレクリエーション事業の実験を学びました。最後に八戸市レクリエーション協会田島博会長(元ライフデザイン学科准教授)より表彰が行われ、閉会の辞が述べられました。

学生たちは参加した子供たちの笑顔に喜びと楽しさも実感した1日となりました。

専攻科

職業体験フェア

～未来のヒントを見つけよう～ [6/24]

八戸市東体育館にて八戸市内の中学生・高校生を対象に職業体験フェアが開催されました。専攻科は、介護福祉科・自動車科共に学生3名が参加し専攻科の紹介と科の実習体験を行いました。



自動車科はエンジンの組立・仕組み、介護福祉科は介護食体験、おむつ交換体験、義歯装着体験、高齢者疑似体験を実施しました。体験した生徒さんは演習授業で使用している機材に触れる機会にもなり、専攻科学生の説明を真剣に話をきいてくださいました。

教材用エンジンを贈呈 [7/5]

本田技研工業株式会社/青森県ホンダ会様より最新技術を使用した教材用エンジン2台が贈呈されました。生徒の技術向上に役立てさせていただきます。ありがとうございました。



専攻科

高校生のための体験授業～介護福祉士のスペシャリスト育成体験～ [7/11]



光星高校保育福祉科1年生24名が、専攻科の学校見学と介護福祉科の授業を体験しました。

専攻科介護福祉科1年生12名と共に食事の基礎知識と介護食について学びました。グループに分かれ食事の意義について考え、その後介護食を摂取しました。体験授業を通して利用者の立場になって介護することや実際に介護食を食べることで理解が深まったとの感想が聞かれました。

専攻科

自動車整備士人材育成セミナー [7/14]



本校の実習場において、“自動車整備士人材育成セミナー”が開催されました。光星高校工業技術科及び普通科の3年生26名を対象に(株)スズキ自販青森様のご協力によるスキャンツールを使用した故障診断の実演と新車の試乗、専攻科教員による2サイクルエンジンの分解組立の体験が行われました。

体験した生徒からは、専門性の高い体験で進路選択に大変役立ちました、などの感想がありました。

ご指導をくださったスズキ自販青森の皆様方には深く感謝申し上げます。

八戸学院 NEWS

平成28年
5月～7月

光星高 光星魂を胸に[8/1]



第98回全国高校野球選手権大会(7日開幕)に出場する光星高校硬式野球部の壮行式(於 光星高校体育館)が行われました。全校生徒と教職員ら約1100人が参加した壮行式では、ユニホーム姿で登場したナインに橋場保人校長から「青森県65校の代表として悔いのない試合をしてほしい」と激励。生徒会の川口詩音副会長が「光星魂と私たちの思いを胸に、未だかつて無い快挙を達成してくれることを願っています」とエールを送りました。これに対し、仲井宗基監督は「皆さんの力強い応援のおかげで県大会を勝つことができました。選手一同、力の限り戦ってきます」と挨拶し、奥村幸太主将は「甲子園では、青森県65校と県民全ての思いを背負い、誇りを持って戦います」と力強く決意表明しました。

光星高 南極地域観測協力行動「砕氷艦しらせ」にて

今年6月、卒業生の市ノ渡秀幸さん(平成11年普通科卒業)が本校を来校。市ノ渡さんは、海上自衛隊に所属し170名の中に選抜され、2015年11月から2016年4月まで南極地域観測協力行動を行った。南極までの往復3ヶ月砕氷船「しらせ」に乗船し、現地での2ヶ月間もあわせると5ヶ月間日本を離れての生活。主な仕事は、食料・燃料・建築資材等を運搬、昭和基地の増設や、海洋観測等も行った。オーストラリアの砕氷船が座礁した時は、ヘリコプターで消火にあたり、救助もした。

困ることは、常に船の上で揺られているのでストレスが溜まり、赤道を抜けるので感覚が麻痺して来ること。また三つ星シェフも乗船しているので美味しい食事がいただけるが、どうしても野菜不足になりがちで、野菜ジュースで補っているとのこと。汗をかくと瞬時に凍ること等驚くことばかりですが、寒さ対策といえば『気合いです』と、にこり。

「人の足跡のない場所で、過去の地球を探ること。これが自分たちの使命です。」市ノ渡さんは胸を張って答え、「自然の中で生きている野生のペンギンやイルカやアザラシは本当に生き生きしていますよ。天敵がいないので、ペンギンがそばに寄ってきて、仕事中にちょっかいを出してきます。仲間だと思っているんでしょうか。」と笑顔で話していました。



野西高 ～高校への第一歩、一日体験入学～ [7/30・8/8]

学習体験と部活動体験ができる一日体験入学に241名の中学生、保護者100名が参加しました。

短い時間の中で、高校の学習や部活動の一端を体験してもらい学校紹介をしました。参加した中学生からは「先輩の皆さんは元気があり、先生方の説明が分かりやすかった。」「部活動に真剣に取り組める環境だと感じた。」「進路を選択する参考になった。」などの感想が寄せられた。



光星高 快挙!! P T A広報紙「東雲」3年連続上位入賞!



2013年 青森県高P連広報紙コンクール 優良賞
2014年 青森県高P連広報紙コンクール 最優秀賞
東北地区高P連広報紙コンクール 優秀賞
2015年 青森県高P連広報紙コンクール 優秀賞
東北地区高P連広報紙コンクール 優秀賞

光星高校のP T A活動は大変活発で、高P連においても高い評価(2015年全国高P連岩手大会にて表彰)を頂いています。中でも広報委員会は、少人数での活動ですが、ここ3年、優秀な成績を収めています。2014年には、研修会での発表校にも選ばれました。光星高校P T Aは「楽しく、無理なく頑張しましょう!」を合い言葉にこれからも積極的に活動していきます。

光星高 ファッションクリエイト研究会発足



ファッションクリエイト研究会は、今年度新たに立ち上げた部活動です。ファッション、取り分けデザインに興味を持つ生徒を募集し、デザイン画を作成、各種コンクールに応募しています。

5月には「ファッション甲子園(第16回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会)」へデザイン画を応募しました。残念ながら本選へ出場することはできませんでしたが、本選出場を目指しこれからも多くのデザイン画を描いていきたいと思います。

また、今後はデザイン画を元に実際に洋服を制作し、光星祭などで発表したいと思います。

光星高 消防クラブ [5/29]

消防クラブは、防火・防災思想の普及を図ることを目的としています。

今年度、消防クラブは、1年生から3年生までの男女28名で結成され、防火や防災についての色々な知識等を身近な生活の中に見出すとともに、日頃から防火・防災に関する多くのことを知るために、八戸市や地元の消防署との合同訓練を行っております。すでに今年度は、5月29日に長苗代馬淵川左岸で実施した国土交通省主催の「総合水防演習」に参加しました。担当した箇所は、洪水対応訓練の土のう積みで、その作業に関して担当者から高く評価されました。また、その様子が八戸市の広報紙の表紙に掲載されます。さらに今年度は、8月28日に行われる八戸市主催の「八戸市総合防災訓練」に参加し、より地域住民と共に防災意識の高揚を図りたいと思います。これからも消防クラブは、地域活動へ積極的に参加し、多く防火・防災思想をより深く学ぶことを計画しています。



野西高 遠足で実る友情 [6/10]

毎年の行事として学年毎の遠足があります。今年は、1年生は『三沢航空科学館』、2年生は『浅虫水族館と夏泊半島』、そして3年生は『十和田湖散策』でした。

さて、高校で遠足をする意義は何でしょうか。本校では、例年、新緑眩しい6月に実施しています。この時期の行事は、新1年生にとって、高校生活の良いスタートをきる大事なものです。2、3年生は友人、クラスメートはたまたクラスを越えて新しい一面を発見できるチャンスがあります。

このように、高校生が学校生活の外で実るだろう友情は、おそらく卒業後も継続される和であると思います。また、公共の場を私服で過ごす団体行動です。高校生に期待する責任感を養うことができる大事な行事のひとつでもあります。今年も、遠足を通して実った、友情の数はいくつでしょう。



遊びながら行えるコーディネーショントレーニング

私がコーディネーション能力を研究テーマとしている理由はヒトが身体を思いどおりに動かしたいと思う時、コーディネーション能力は必要不可欠な要素となるからです！

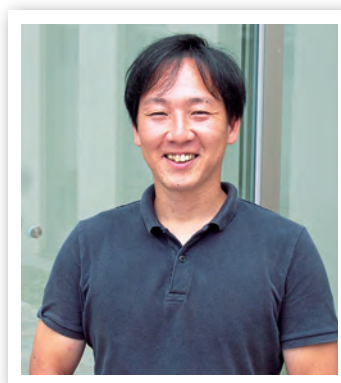
コーディネーション能力とはカラダを動かすために必要な能力(バランス、タイミング、力加減などを運動課題に合わせて調節する)です！この能力を向上させるトレーニングをコーディネーショントレーニングと呼び、アスリートに限らず子どもからご年配の方まで多くの方が行うことが出来ます！このトレーニングを行うときのポイントとしては発育発達の段階、体力、身体活動レベル、機能制限、そして競技特性に対する十分な理解が必要ですが、コツさえつかめばとても簡単に行なえます！

たとえば、幼児の場合はボールを空中に浮かせている間に手を素早く叩いてそのボールをキャッチしたり、脚を使つてのじゃんけん(負けたら相手の周りを1周回る)、ダブルキャッチボール(2つのボールでキャッチボール)を繰り返すといった内容から、鉄棒や雲梯(うんてい)遊びもコーディネーショントレーニングとなります！さらに数年前に放送されていた東京〇〇パークという番組をご存知でしょうか。ゲストがトランポリンをタイミング良く飛んで壁に張り付いたり、点滅して移動する光の上にジャンプして着地するといったゲームにチャレンジするものなのですが、まさにこの時に求められるのがコーディネーション能力なんです！

どんなに強い筋力があってもその筋力を使いこなすコーディネーション能力がなければ、日常生活での身体活動やスポーツパフォーマンスの向上は難しいです…。だからこそコーディネーション能力を理解し実践することが大切なんです！お伝えしたいことはまだまだたくさんありますが、このへんで…。

職員 ファイル

⑥



川端 悠

八戸学院短期大学
幼児保育学科 講師

金沢大学 大学院
自然科学研究科 生命科学専攻/博士

トレーニング①



マーカーの間を通るようにボールをパス(転がす・蹴る)したら、素早く次のマーカーに移動してボールパスを繰り返す。

トレーニング②



ボールを空中に投げている間に手を素早く叩いて、そのボールをキャッチする。

トレーニング③



脚を使つてのじゃんけん(負けたら相手の周りを1周回る)

親子で
コーディネーション
トレーニング!

テーマ

キャリア教育と国際交流に臨むにあたっての心構え [6/28]

講師：法官憲章 氏 (航空会社勤務) / ジョディ法官 氏 (ケアンズ教育委員会勤務)

オーストラリアと日本の文化の違いについて、ジョディさんによるオールイングリッシュで授業が行われました。生徒たちは、普段ネイティブスピーカーの英語に触れる機会がほとんどないので、最初は授業についていくのが精一杯の様子でしたが、憲章氏のフォローにも助けられ、徐々に自然に受け答えもできるようになり、授業に積極的に参加していました。



海外で生活する上で語学力は勿論、大事なことや国際事情などお二人の経験を交えてお話いただきました。

生徒たちは、文化や感覚の違いの多さに驚きの連続で、視野を広げること、国際的な感覚を持つことの重要性を痛感していました。ほんの45分間でしたが、生徒たちにとって貴重な体験授業となったようです。



普通科2年A組



ビジネス科2年Q組



今後こうした活動を通じて、世界をステージに活躍する人材へと成長してほしいものです。

イベント情報 平成28年8月～11月

八戸学院短期大学附属幼稚園 3園合同

▼星の子音楽会

11/9(水) 9:50開演
場所:八戸市公会堂

八戸学院短期大学附属幼稚園

▼幼稚園説明会・キッズ祭り

10/29(土) 10:00～11:00

【星の子キッズクラブ】登録制

・チッチクラス(生後3ヵ月～1歳半)
10:00受付 8/24、10/6、11/2

・プレスクール(満2歳児になるお子さん)
9:00～11:30

火曜日コース 8/23、9/6・20・27、
10/4・11・18・25、11/15・22・29

金曜日コース 8/26、9/9・23・30、
10/7・14、11/4・11・25

・ステラクラス(1歳後半～入園前のお子さん)
10:00受付

水曜日コース 9/7、11/16

木曜日コース 9/8、11/17

水・木合同 8/31、9/28、10/12・19・20、11/30

土曜キッズ(自由参加) 9/24、10/29、11/26

八戸学院短期大学附属幼稚園 聖アンナ

▼オープンスクール

10/12(水)、11/14(水) 10:00～14:00

【めだか学級】予約制 10:00～11:30
9/13・27、10/4・18、11/15・22

【ベビーマッサージ】予約制 10:00～11:30

はいはいクラス(対象年齢7～11ヵ月)

9/4(日)※、9/28(水)

よちよちクラス(対象年齢12～24ヵ月)

10/7(木)、10/16(日)※

※南部山スポーツセンター

八戸学院短期大学附属幼稚園 第二しののめ

▼土曜ポケット広場

9/3、10/1、11/5 10:00～12:00

▼すくすく会バザー、ポケット広場
9/11(日) 10:00～

▼ポケット広場(見学説明会)

10/6(木) 10:00～12:00

▼ポケット広場(ウィンドアンサンブル)
11/16(水) 10:00～12:00

第二しののめ

絵の具あそび、だいすき

全園児でダイナミックな絵画活動を楽しみました。

「手や足に絵の具をつけてペタペタするのっておもしろいね」

子どもたちは目を輝かせ、イメージを膨らませながら、表現することを楽しみました。

完成した作品は、階段の踊り場正面に展示しました。表現する楽しさ喜びが自信につながるよう、子どもたちの豊かな感性を育み、絵画活動をしていきたいと思います。



第二しののめ

虫となかよし



保護者の方からいただいたカブト虫の幼虫とカタツムリ。そして、まさえ先生が見つけてきてくれたカブト虫、またまた、ありやダンゴ虫と玄関に生き物が次々にやってきました。

子ども達は虫が大好き、興味津々です。お部屋に入る前に必ず観察して「おはよう」と声をかけています。りっぱな角のオスにゼリーをあげようとすると「やりたい」「さわりたい」と集まってきます。

小さな生き物にもやさしく向き合う子ども達は「かわいい」ですね。

聖アンナ

ひとつぶの小さな種から



聖アンナの園庭の隅に、小さな畑があります。その畑に、小さな種を蒔き、花や野菜を育てます。収穫した野菜を調理し、実際に食すことで、食育も大きなねらいとしてありますが、それだけではありません。花や実は、やがて種になります。その種が芽を出し、また花や実となります。このような命の循環を観ることも、この畑の目的です。

子どもたちは、「どうして?」「なんで?」と、沢山の不思議と出会います。その、沢山の不思議との出会いが、聖アンナで大切にしている、コスミック教育へと繋がっていき、自分たちも、自然の一部であることを知る、きっかけとなっていくます。



附 属

年少組の育ちを追って～夏～

幼稚園生活に慣れ、流れや決まりを理解して活動したり、着替えや片付けなど自分でできることが増えて自信をもって活動している年少組。様々な活動に意欲的に取り組んで、体験を楽しんでいます。



真剣!「窓にお絵描き」
集中しています



糊付けは集中して、
はみ出さないように…



水がとんでくるよ!
逃げて～



見て!組体操
できちゃった



玉ねぎ模様の
できあがり!



わあ! トマトの匂い
がいっぱいするよ



附 属

年齢別クラスであそんじゃおう!《星の子キッズクラブ》

《チッチクラス》



川口太陽先生とベビーマッサージ



今年度から、星の子キッズに新しいコースが増えました。チッチクラス(1歳半まで・登録制)では、広いマットの上でハイハイしたり、五感を通した遊びを楽しんだり、絵本を読んだり、親子でゆったりと過ごします。また、プレスクール(満2歳児・登録制)では、楽しい遊びや園内お散歩など、園の雰囲気や集団生活に少しずつ慣れ、トイレトレーニングなど自立に向かってサポートしています。

さあ、絵本の
時間ですよ～



上手にシールを
貼れるかな?



・ 《プレスクール》 ・



おいしいご飯を
つくっちゃおう



八戸学院 NEWS

平成 28 年
5 月～7 月

附属幼稚園
第二しののめ
【6/26】

元気いっぱい応援合戦



「トマトの色はー？」「あかー！」
「とうふの色はー？」「しろー！」

と、応援団長とのかけ合いを楽しみながら、全園児での応援合戦が始まります。応援団長は大きな声で、旗を持つ子は力強くふり頑張りました。

紅組、白組、それぞれに考えたパフォーマンスを交えながら心を一つにして、「フレイフレイ紅組」、「フレイフレイ白組」と応援を合わせ、お互いに拍手を送るなど、競技開始前から元気いっぱいの子どもたちでした。



附属幼稚園
【6/12】

受け継がれる組体操



附属幼稚園運動会の見所の一つは、創立当初から始まった年長組恒例の「組体操」。軽快な曲に合わせて、踊ったりポーズを決めたりして大きな拍手に包まれました。3楽器になると年中組は、年長組から「組体操」の指導を受け、次年度年長組として本番を迎えます。その年独自のポーズやネーミングを子どもたちと教師と一緒に考え、友達と協力し、協調し合って作り上げることで達成感を得ています。



幼稚園 運動会



附属幼稚園
聖アンナ
【6/26】

親子一緒によーいドン！



八戸学院室内練習場で開催された親子運動会の締めとなるのは、親子マラソン！美保野キャンパス内を親子でマラソンして順位を競います。年長児から満3歳児までの全園児が対象となるこの競技。毎年恒例になっており、子どもはもちろん、保護者の皆さんも気合がはいります。そしてステラちゃんに見送られながら、いざスタート！必ず親子一緒にゴールしなければならないため、親子で息を合わせて走っていきます。初めは意気揚々と走っていましたが、折り返し地点になると疲れの色が…。それでも決して諦めず、親子で手を繋ぎ、顔の汗と笑顔を輝かせながら全園児親子で、完走することができました。





窓生の
広場

INTERVIEW

八戸から世界へ！

病院で検査を受けたことがきっかけで自分の身体のことをもっと知りたいと思うようになり、臨床工学技士(※)の資格を取れる学校に進学しました。卒業後は、技士として病院やクリニックで働いていましたが、仕事の幅を広げたいという思いから、看護師を目指し八戸学院短期大学に入学しました。技士は機械が相手の仕事ですが、看護師は患者さんの心と向き合う仕事です。実習を通して、患者さんとの信頼関係を築くことの大切さを学びました。短大卒業後、八戸市立市民病院に就職し、病棟勤務を経て現在は消化器内視鏡室に勤務しています。消化器内視鏡室は、検査が主な業務で、病棟より患者さんに関わる時間が短く限られています。また、検査には痛みや苦痛を伴うこともあるため、いかに短い時間で信頼関係を築き、安心して検査を受けていただくかが重要となります。そのために検査中は、患者さんの表情や、血圧、脈拍など些細な変化にも気を配り、声かけや介助を心がけています。検査終了後に、患者さんから「今日の検査は楽だった。ありがとう」と声をかけられると、この仕事をしていて良かったと思いますね。

※臨床工学技士

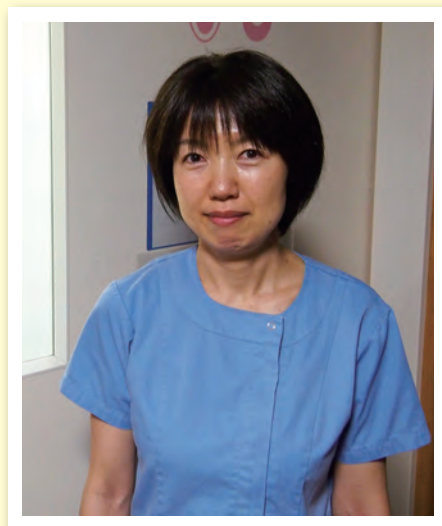
血液浄化装置、人工心肺装置、人工呼吸器等の生命維持管理装置の操作および保守点検を行う。

【後輩へ贈る言葉】

看護師の仕事は、患者さんの命を預かる責任重大な仕事です。技術や知識の習得も大切ですが、患者さんとの信頼関係を築くために人間性を磨くことも忘れないでください。

プロフィール

八戸学院短期大学看護学科 平成25年3月卒業
平成25年4月より八戸市立市民病院に看護職員として勤務



小村 緑氏

Midori Komura

八戸市立市民病院



八戸市立市民病院 消化器内視鏡室にて

平成28年度八戸学院関東の集い開催 6/18

東京ガーデンパレスにおいて、八戸学院大学、八戸学院短期大学、光星高校、野辺地西高校4校合同による「平成28年度八戸学院関東の集い」が開催されました。来賓として、青森県人会をはじめ、就職先企業関係者、関東支部同窓会、各学校同窓会役員のご臨席を賜り、卒業生、教職員総勢116名の参加で会場いっぱいになりました。はじめに法官理事長が「昨年より参加者が増え、盛大に関東の集い

を開催できることに感謝したい。これを機に、会のさらなる充実を図れば」と挨拶しました。また、卒業生を代表して村居広さん（野辺地西高校総合学科H28年卒）が「高校時代に培った根性と協調性を活かして頑張りたい」と挨拶しました。今回は、4月から新生活をスタートさせた卒業生が多く参加くださり、互いの近況報告をするなど大いに盛り上がりました。



八戸学院大学



八戸学院短大



光星高校



野辺地西高校

盂 蘭 盆

今年の日本列島は、大雨被害の報道が目につきます。熊本地震をはじめ、近年、日本はもとより世界で大きな災害が起きている。万が一の災害に備えて日々の生活がより大切になったと痛感します。「備えあれば憂いなし」、用心に越したことはない。

ところで日本では、7月のお盆と8月に迎える旧盆の風習があります。盂蘭盆=亡くなった人のご冥福を祈り供養する日ですが、日本では仏壇を飾り墓参りをする仕来りです。

今年を思い返しますと、2月2日に中村キヤ学院長先生が92歳でお亡くなりになりました。本学院の教育に一心に情熱を傾け、光星学院の教育の指針を示して下さいました。キヤ先生は教育の現場も長く多くの教え子に見送られて旅立ちました。

また、八戸学院大学に勤務されていた戸村春樹先生が3月13日にお亡くなりになりました。戸村先生はエッチングの制作では世界的にも名を知られた先生で、光星学院高等学校の35周年記念誌に先生の作品も使わせて頂き、格調高い記念誌にいただきました。

6月にはこれからという有能な管理職員の訃報に接し大きな悲しみに沈みました。八戸学院大学キャリアサポートのリーダーであった小笠原淳司課長です。病魔に冒されて懸命な闘病生活もむなしく、6月11日家族に看取られてこの世を去ったのでした。人望厚い彼の死は、多くの教職員の悲しみと共に、大学の将来を背負ってくれるという人材を亡くした損失は計り知れないと思っています。葬儀は奥様とお二人の遺児が立派に取り仕切り、父の心をしっかり受け継ぐ姿に安堵を覚えながら、今までの貢献に感謝を表します。

さらに、平成8年から14年3月まで八戸大学第4代学長を勤められた日置孝次郎先生は、退職後は埼玉県に住居を構えておられましたが、7月8日にお亡くなりになられた報告がありました。民俗学者として興味深い話をたくさんお持ちでした。

日置先生は、敬虔なクリスチャンで、当時本学の教授でありました温子奥様とともに美保野の教員宿舎で生活され、大学運営にあたられました。

お盆を迎え、本学院の発展にご尽力下さいました亡き人々たちを偲び、感謝の念をもってご供養にしたいと思います。



タイ国で感じたこと

6月末から、一週間の休みを頂いて東南アジアを旅しました。

タイに入り国情も違う、国民性の違いも実感した。円をタイバーツに換金すると、円の3分の1の計算で経済事情も理解できる。行き先の街々では、近隣国からの出稼ぎと思われる人々が元気よく動き回っている。観光地は日本人、韓国人そして集団の中国人が目立つ。公共機関の利用においても国民性がよく現れている。

かなり昔、戦後復興を成し遂げて海外旅行が夢でなくなった当時の日本人は、経済成長と共にその国民性のあり方を海外において批判され、経済成長とともに精神文化の面においても成長した。あれから何十年も経て、今、隣国もその同じ道を辿っているように思えた。

発展途上にあって成長を続けている国と、より幸せを求め日々生活している人々の姿を垣間見て感じたことは、経済、生活レベルと精神生活の関係です。人柄の問題は別として、国の歴史と併せて教育や文化の違いに、いつもながら興味を持つ旅となった。

4月1日辞令交付式において、21世紀を「命の世紀」と位置づけ、本学院がこれまでの時間をかけて培ってきた力をもって、在籍するすべての子供達の一人一人が持つ能力と向き合うとともに、唯一無二の個性の伸長を図り、豊かな人間としての育成と社会に有為な人材育成を「全人教育」をもって行うことを念頭に置きたいと言った。

小原國芳先生はこの「全人教育」を教育理念の中心として、人間形成には真・善・美・聖・健・富の6つの価値を調和的に創造することを教育の理想として説きました。

改めて、教育の力を持ってして国際人の育成にも努めてまいりたいと思いました。



法官 新一
Shinichi Hogan

砂浜彫刻『わ』の世界 [7/13]

短期大学幼児保育学科では、表現活動の一環として平成18年度より白浜海岸で「砂浜彫刻」を開催しています。今回のテーマは「わ」。「輪」「和」「羽」「我」「話」などゼミごとに趣向を凝らした様々な「わ」が完成しました。



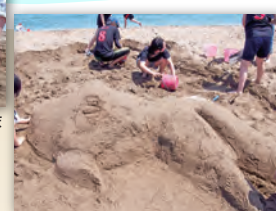
まず紙粘土で構想をかためます。



模型を見ながら大きさや作業工程を確認します。



作業開始！砂を積み、掘るなどしておおまかな形を作ります。



完成！



杉山ゼミ「羽」



細部を作りこみ、貝殻などで装飾を加えます。



海水をかけ砂を固めて形を整えます。



天摩ゼミ「世界中の子どもたち」



加藤ゼミ「八短のカッチャ」



池田ゼミ「手のひらの輪」



田端ゼミ「わあ和音」



田中ゼミ「指輪」



佐貫ゼミ「だるまさんが...ワッ！」



小川ゼミ「Woaa!!」



中嶋ゼミ「花輪」



澤井ゼミ「さくら」



三村ゼミ「和のブラックホール」



木下ゼミ「天使の羽」



川端ゼミ「天使の羽」